

《令和2年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
中世東国仏教研究会	大八木 隆祥
研究会名 略称: 東国研	所 属: 総合佛教研究所
活動紹介	
【活動内容】 当研究会は、中世東国における仏教の実態解明を目的に、東日本地域の寺院聖教を調査研究し発表している。昨年度までは神奈川県立金沢文庫管理・国宝称名寺聖教所収『仙芥集』全32点(全30冊+草稿本断簡2点)を翻刻し、順次発表してきた。 『仙芥集』は鎌倉時代、鎌倉亀谷に住した真言僧定仙(1233~1302)の受法記録を弟子智照がまとめたものである。定仙は多くの重要な人師より多数の法流を受法しており、その受法記録である『仙芥集』は当時の法流授受の実態を知りうる第一級の史料と言える。	
【活動実績】 ※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 『綜佛年報』36号~38号、同40号~42号に、全32点の翻刻および解題を掲載。	
【令和2年度活動計画】 月1~2回程度研究会を開催し、『仙芥集』に登場する人名を集成・整理・調査する。 その成果は年度末に『綜佛年報』に掲載する予定である。	